

2006年 新生静岡青年会議所



合併協議会

清水JC・静岡JCの両キャビネットを中心に、合併へ向けたフレームづくりを目的とした協議会。各分科会に分かれて様々な協議を行い、『答申書』を作成した。

合併協議会で主に決めたこと

定款諸規則・組織案・シスターJCの取り扱い・統合方式、基本理念、合併の期日等については決定した。

答申書の主な内容

- ・静岡市における青年会議所の基本理念
※新生静岡JCの10年後を見据えた基本理念を決めた。(次項目参照)
- ・合併の方式については『新設・統合』とする。
両JCへの吸収合併や別の上部組織の新設などが討議された。各地域の長い歴史の中で形成された文化や特色、体制などを尊重するねらいから、両JCを解散し新たにJCを新設して参加するという形をとった。事前に新静岡青年会議所連盟的な母体を作って組織を形作り、両LOMの解散後に会員拡大活動を行う。
- ・合併(新設・統合)の期日について 『2006年1月1日』とする。
- ・新JCの名称について 『静岡中央青年会議所』とする。
「しずおか」「静岡」「静岡中央」の3案で議論された。途中経過では、新たな行政市名が静岡市であることをベースに話し合われた。一方、清水JCメンバーは「静岡」という名称には感情的なわだかまりがあるとの指摘があり、「静岡中央」を推している。最終的には全会一致で決定した。

設立準備委員会とは

- ・合併協議会で議論された「上部組織、新設LOMの母体」
- ・旧清水・静岡JCから「チャーターメンバーとなる各15名」が参加
- ・定款、諸規則、体制、名称等を議論
- ・設立準備委員会が核となり、新生静岡JCのメンバーを旧清水・旧静岡・旧駿河JCから拡大していくというスタンスをとる。

設立準備委員会で決めたこと

合併協議会から引き継いだ答申書を基本に定款諸規則・組織案・シスターJCの取り扱い・統合方式、基本理念、合併の期日、名称等については決定した。この時、当初予定されていた「静岡中央」という名称から「静岡JC」という名称に変更された。